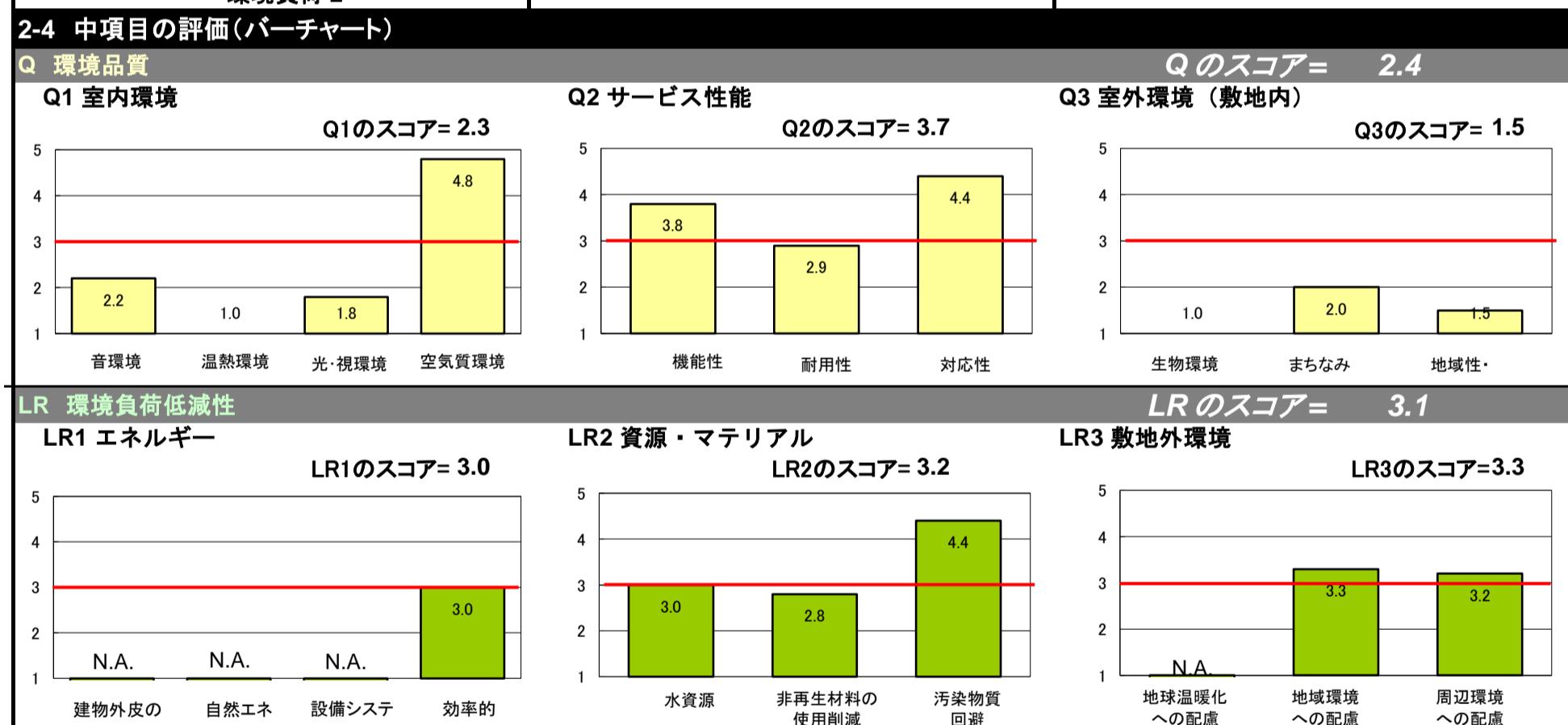
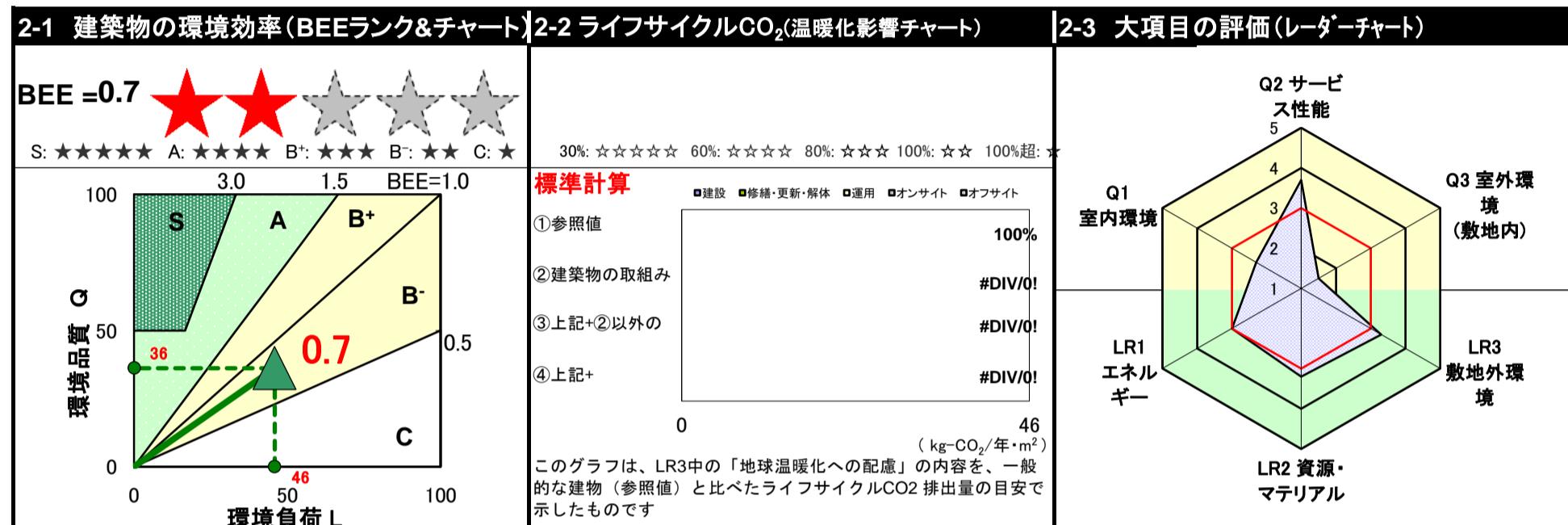


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)オートバックス西日本DC	階数	地上1F
建設地	兵庫県三木市	構造	S造
用途地域	区域区分非設定	平均居住人員	2人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,160時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2024年12月15日
敷地面積	17,189 m ²	作成者	村上 朝
建築面積	3,422 m ²	確認日	2024年12月24日
延床面積	3,485 m ²	確認者	岸 昌幸



3 設計上の配慮事項			
総合 常温倉庫という用途上、配慮するべき項目が少ないが、可能な限り環境配慮を行っている。		その他 0	
Q1 室内環境 シックハウス対策として使用する建材はF☆☆☆☆とし、化学汚染物質による汚染対策に配慮している。また居室ではオーバースライダーにより広く開口部を設けることで、室内環境の向上に配慮している。		Q2 サービス性能 用途上、外部からの来客は想定していないため、該当する項目が少ないが、執務者の作業環境、快適性に配慮した計画としている。	
LR1 エネルギー 空調設備を設置しない常温倉庫であるため、消費エネルギーが少なく、結果的に環境配慮につながっている。	LR2 資源・マテリアル 内装材を使用しないため、更新・改修・解体等の再利用可能性向上に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 立地条件や既存棟への増築という制約があり、室外環境への配慮は難しいが、ルーフファンの採用により、排熱・換気等に配慮している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を設置しないことや屋外広告照明を行わないことで、敷地外環境への配慮としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される